

終戦の日特集



◆県北エリア（座間・相模原）における帝国陸海軍の遺構

昭和二十年八月十五日正午、昭和天皇より終戦の詔書が国民に宣布せられました。国際法上の終戦は降伏文書に署名した九月二日ですが、多くの日本人にとっては詔（みことり）を戴いた八月十五日が「終戦の日」として心に刻み込まれたのでしよう。

さて、県北エリアを構成する相模原はかつて『軍都』と呼ばれ、隣接する座間にも軍事施設が存在しました。そこで今号では我が県北エリアにおける帝国陸海軍の遺構を紹介したいと思います。

【相模原地区】（ ）内は現在の場所

- ① 航空神社（緑区川尻牡龍籠山）  
付近空域で殉職した陸軍航空兵のために設置。…支部だより令和3年12月号参照
- ② 陸軍相模原造兵廠（中央区・在日米陸軍相模原補給廠）  
昭和13年開所。主に戦車の研究開発を担当。
- ③ 陸軍兵器学校（中央区・麻布大学）  
昭和13年開所
- ④ 陸軍機甲整備学校（中央区・淵野辺公園等）昭和18年開所
- ⑤ 陸軍通信学校（南区・相模女子大周辺）  
昭和13年開校。最寄り駅だった通信学校駅は現相模大野駅
- ⑥ 陸軍士官学校相武台演習場（南区・北里大学、麻溝台工業団地等）  
後述の陸軍学校の演習地
- ⑦ 陸軍電信第一聯隊（南区・米軍住宅）  
昭和14年、東京中野から移転



【座間地区】

① 陸軍士官学校（座間・陸自座間駐屯地）

昭和12年、本科が東京市ヶ谷より移転。同年12月の卒業式に昭和天皇行幸の際「相武台」の地名を賜ったということです。

ちなみに町田駅から士官学校まで昭和天皇の御車を通った県道51号線は行幸道路と呼ばれています。

② 高座海軍工廠（座間市東原・相鉄線さがみ野駅周辺…一部海老名市）

昭和18年開所。主に局地戦闘機「雷電」を製造



**相模原慰霊塔参拝、隊友会有志で実施**

終戦の日の恒例行事である相模原慰霊塔参拝は遺族会としての行事は中止となったため、隊友会有志及び遺族会の一部の方々のみで、慰霊塔内の英霊の納骨区画を参拝しました。参拝に先立ち、昭和天皇の玉音放送ならびに全国戦没者追悼式の様子をモバイル上で拝聴しました。

以上、紙面の都合上主だったもののみ取り上げましたが、お近くをお通りの際は先人の足跡に思いをはせてはいかがでしょうか。なお、航空神社の詳細を含め支部だよりのバックナンバーは神奈川県隊友会のウェブサイトから閲覧できます。

令和3年12月号以降

<https://www.taikyukanagawa.com/>

それ以前

[Taikyukanagawa.la.cocacn.jp/](https://www.taikyukanagawa.com/)

次号までの主な予定

県	理事役会	9月9日（土）14時00分	地本
支部	座間市総合防災訓練	9月2日（土）09時	相模野小学校
	隊友紙仕分け	9月30日（土）09時30	セレモア
	2/四理事会	9月30日（土）10時	セレモア

**新入会員歓迎会（5.7.28）**

上：支部長と新入会員 下：参加理事



隊友紙配布状況

区分	総数	手配り数	郵送数	手配り率
正会員	107	82	25	77%
特別会員	13	10	3	77%
計	120	92	28	77%

